

	岐阜大学 医学系分野
学部・研究科名	医学部医学科（第1年次：107） 医学系研究科（M：11 D：53） ※M：再生医科学専攻を記載。 D：医科学専攻、再生医科学専攻を記載。
沿革・設置目的	医学に関する教育・研究を行うことを目的に設置された岐阜県立女子医学専門学校、岐阜医工科大学、岐阜県立医科大学医学部を経て、昭和39年（1964年）国立に移管され岐阜大学医学部として設置された。 昭和24年（1949年）（国立）岐阜大学設置 昭和25年（1950年）岐阜県立医科大学医学部設置 昭和36年（1961年）岐阜県立医科大学医学研究科設置 <u>昭和39年（1964年）岐阜大学医学部設置（岐阜県立医科大学から移管）</u> 昭和42年（1967年）岐阜大学医学研究科設置（岐阜県立医科大学から移管） 平成16年（2004年）国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	○ 岐阜大学の理念・目標等に基づき、地域と世界に貢献できる良き医師、優れた医学研究者の育成を積極的に推進する。特に、医学教育共同利用拠点としての機能や隣接する薬学系大学との教育研究連携を活かし、世界標準の次世代型の医学教育開発を推進し、岐阜大学のみならず我が国の医学教育の水準向上に貢献することを目指す。 ○ ITを活用した救急医療体制に関する研究開発や病原微生物遺伝資源保存センターにおける病原体の保存（主に気道感染症及び敗血症）及び国際的な研究基盤整備を始めとする研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 岐阜県と連携し、県内の地域医療を担う医師の確保及びキャリア形成を一体的に支援し、医師の偏在解消に貢献する。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、高度救命救急センター等としての取組を通じて、岐阜県における地域医療の中核的役割を担う。